

令和3年度 北区障害者自立支援協議会 実施報告書

年間テーマ/主な取り組み

『みんなでつながる北区をめざそう』～地域の社会資源を知る～

月	活動内容	
	原則	毎月第3木曜日 13:30～ オンライン会議
4月	《運営会議》 ・今年度と次回全体会議の内容検討	【ハイブリッド開催】
5月	<全体会議> ・今年度の取り組みの内容検討 ・機関整理シート（堺支援学校、西浦支援学校）	【ハイブリッド開催】
6月	《運営会議》 ・児童に焦点を当てた取り組み検討	【ハイブリッド開催】
7月	<全体会議>障害児の支援機関に関する勉強会 ・子ども食堂の取り組み ・放課後等デイサービス	【ハイブリッド開催】
8月	《運営会議》 ・前回の振り返りと、次回全体会議の内容検討	【ハイブリッド開催】
9月	<全体会議>障害児の支援機関に関する勉強会 ・子育て支援課（家庭児童相談室）の役割 ・子ども相談所の役割	【ハイブリッド開催】
10月	《運営会議》 ・前回の振り返りと、次回全体会議の内容検討	【ハイブリッド開催】
11月	<全体会議>障害児の支援機関に関する勉強会 ・保健センター（保健師）の役割 ・スクールソーシャルワーカーの役割	【ハイブリッド開催】
12月	《運営会議》 ・前回の振り返りと、次回全体会議の内容検討 ・防災リーフレットの完成に向けて	【ハイブリッド開催】
1月	<全体会議> ・今年度の取り組み内容の振り返りと今後について意見交換 ・機関整理シートについて ・防災リーフレットについて ・65歳問題について	【ハイブリッド開催】
2月	《運営会議》 ・来年度に向けての取り組み内容の検討	
3月	<全体会議> ・来年度の取り組み内容の検討・防災リーフレットの完成 機関整理シートの完成	

北区の特徴、地域資源の情報、年間テーマの背景

北区は大阪市内への交通の便利さから、高齢化率は低く就労世帯が多いことで、子育てや介護の問題があっても相談につながりにくく、さらにコロナの影響で地域が希薄化し、課題が顕在化されにくい状況にある。さらに児童にまつわる社会資源が把握できておらず、どこどう連携を取ればよいのか分からないといった意見も出ている。

まずは支援者と関わりがある世帯から状況を把握する（特に指定相談支援事業所から事例を挙げる）ことから課題を共有するとともに、行政機関（子ども相談所、保健センター（保健師）、子育て支援課（家庭児童相談室）、スクールソーシャルワーカー）の役割と、地域の社会資源である子ども食堂や放課後等デイサービスの取り組みを知るといった「地域を知る」ことから始め、地域課題の取り組みへと進めていきたい。